



教育情報



■ 嘉穂郡児童画展を ■ 町立図書館で開催しました

桂川小学校

校長 辻秀志

昨年12月5日に嘉穂郡小学校の児童画および版画の作品審査を桂川小学校で行いました。嘉穂郡は2校ですので、かなりの作品が筑豊審査へと推薦されました。

筑豊審査は12月9日に直方東小学校で行われました。筑豊地区は、遠賀郡・中間市・直方市・宮若市・鞍手郡を含みますので、かなりの数の作品が高いレベルで審査されました。

この最終審査の結果、本校より特選2点、入選7点、佳作57点をいただくことができました。その結果、学校奨励賞もいただいております。

昨年度までは、嘉穂郡児童画展は行われておりませんでした。せっかくの素晴らしい作品をより多くの方々に鑑賞していただきたいと考え、本年度より桂川町立図書館におきまして、児童画展を開催いたしました。筑豊審査には行きませんでした。素晴らしい出来映えの作品につきましては、「学校賞」を特別に設け

VOL.69

「桂川っ子」の文字は、
桂川中学校美術部員が
デザインしたものです。



まして、図書館と一緒に展示をいたしました。

1月25日から2月2日までの展示期間でしたが、大盛況に終わりました。

一緒に写真に写るご家族もいました。また、普段図書館に足を運ばない子どもたちもたくさん鑑賞してくれました。入選作品は、今後学校内での展示も考えています。



▲展示会の様子。



▲特選作品。



▲入選作品。

■ 自立の基礎

桂川東小学校

校長 諫山秀代

小学校の学習は、将来社会に出ていく子どもたちに「自立の基礎」を培うために行われるものです。桂川東小学校では次のような取り組みを行っています。

「学校は勉強するところ」

小学校では週25時間〜29時間の学習をします。ご存じのように、国語や算数などの教科、道徳や特別活動などがあります。

桂川東小学校は1学級の人数が20人前後と少人数なのですが、一人一人に確実に学力を身につけさせるため、授業を分かりやすく工夫する研究を重ねたり、複数の教師で授業をしたりしています。

子どもたちも「学校は勉強するところ」という意識が高く、授業に集中して取り組みます。家庭での学習もほとんどの子がきちんと取り組み、宿題忘れもごくわずかです。

これは、将来の自立のために大きな力となります。

「鍛えて体力向上」

本年度は1年中「なわとび」で鍛えました。1月31日は鍛えた成果を競い合う「なわとび大会」。きつくても挑戦して、今の自分を超える頑張りは大切なことです。

今年も日常の体育学習、「運動会」「マラソン大会」「なわとび大会」などで鍛えてきました。
体力向上はこれからの全ての活動の基礎になります。

「地域との連携」

「アンビジャス広場もちつき大会」今年も行われました。ボランティアの学生も含め40人程の地域の方々がお世話をしてくださいました。各家庭では得難い貴重な経験です。

子どもたちは地域でも豊かな経験をさせていただいております。

来年度も、子どもをよりよく伸ばすために、家庭・地域と連携しながら進めていきます。ご協力よろしく願います。

